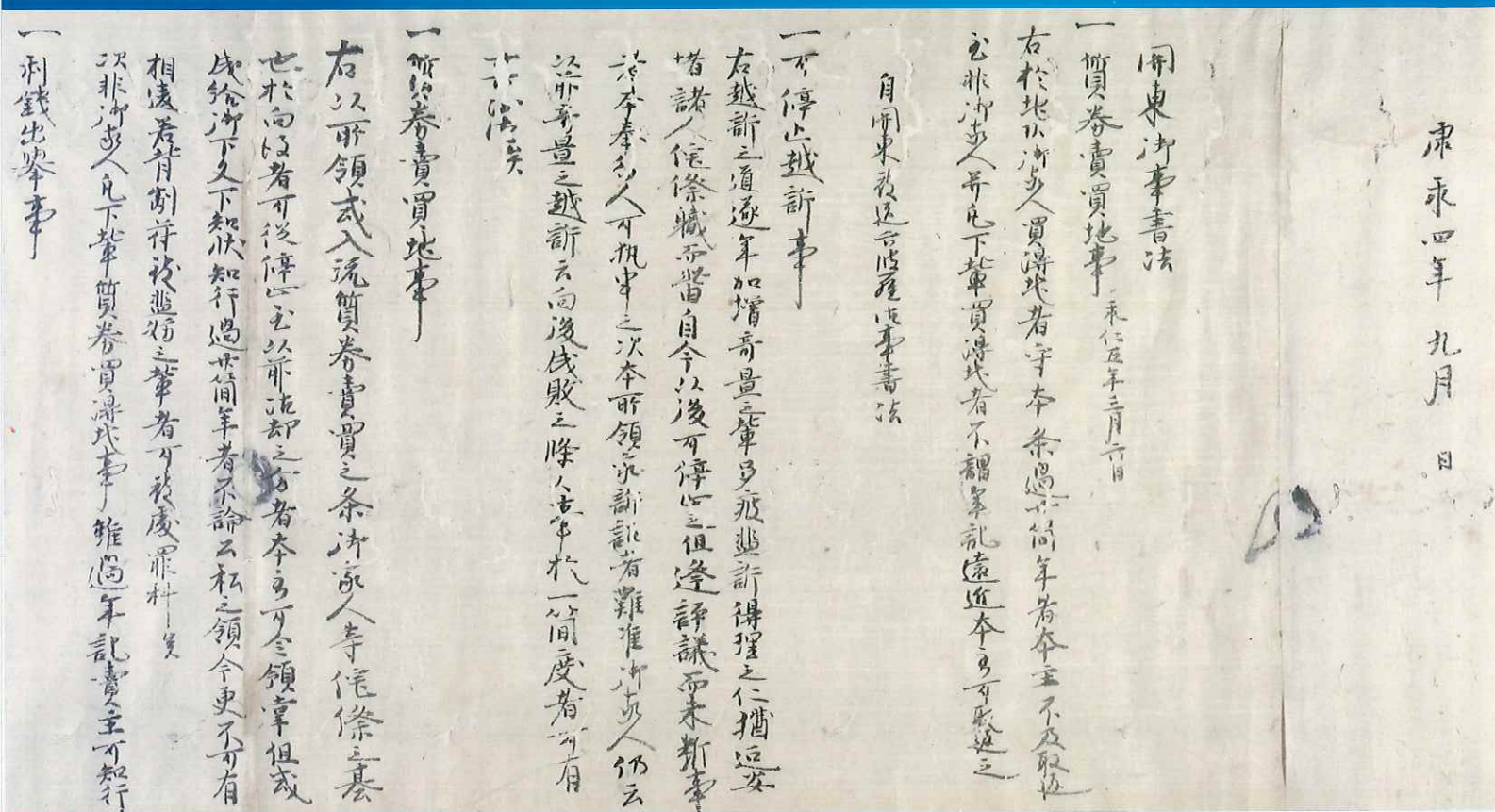


# 平成30年度 東寺百合文書展

中世の古文書が近代によみがえる！



康永四年九月 日

一 東寺書法

一 質券賣買地事 永仁五年三月六日

右於此山沖少人買得此者守本条過亦同年者本主不及取也  
此非沖少人并下輩買得此者不謂家記遠近本主可取也

自用東教返言臨履地事書法

一 可停止越訴事

右越訴之道逐年加增奇量之輩多飛越訴得理之仁猶逗安  
堵諸人信條職示留自今以後可停止之但逢評議而未斷事  
於本奉公人可執申之次本所領之訴訴者難准沖少人仍云  
此所奇量之越訴云向後成敗之條人主申於一箇度者可自  
止之也

一 質券賣買地事

右以所領式入流質券賣買之条沖少人等信條之基  
也於向後者可從停止之以前所却之方者奉公可令領掌但或  
成給沖下又下知伏知行過亦同年者不論云私之領令更不可有  
相違若背割符被盜妨之輩者可被處罪科一更  
次非沖少人凡下輩質券賣買地事一雖過年記賣主可知行

一 利錢出奉事

京都府立京都学・歴彩館が開館してはじめての国宝・東寺百合文書の展示を開催します。今回の展示では、教科書にでてくるような歴史上の大きな出来事や有名な事件が、東寺百合文書のなかにはどうあらわれているのかを紹介するとともに、江戸時代には桐箱に納められて宝蔵に置かれたままだった東寺百合文書が、明治になって近代的な歴史学研究的史料としてよみがえり、研究に使われるようになる、その過程がわかる資料も展示します。



**会期** 《前期》平成30年 9月15日(土)～10月9日(火)  
《後期》平成30年 10月13日(土)～11月11日(日)

**場所** 京都府立京都学・歴彩館1階展示室

**休館日** 祝日、第2水曜日

**時間** 平日：9時～18時 土・日：9時～17時

**入場無料**



## 『中世の古文書が近代によみがえる!』

- 史料編纂所の事業と東寺百合文書 [高橋敏子 / 東京大学史料編纂所教授]
- 古文書を写すということ  
— 中世の「書写」から近代の「影写」まで — [宮崎 肇 / 東京大学史料編纂所特任研究員]

### 【プロフィール】

高橋敏子 (タカハシ トシコ) / 東京大学史料編纂所教授

1955年生まれ。日本中世史。東京大学史料編纂所の史料集『大日本古文書 東寺文書』で「東寺百合文書」ひらがなの函の編纂を担当し、翻刻・校訂を通じて、長くこの文書群と関わってきたが、汲めども尽きない百合文書の内容に圧倒されている。共著等に『日本の時代史9 モンゴルの襲来』(吉川弘文館)、「百姓は主張する」(『日本史の森をゆく』中公新書)がある。



宮崎 肇 (ミヤザキ ハジメ) / 東京大学史料編纂所特任研究員

1972年生まれ。日本中世史を専攻。東京大学史料編纂所公開の「電子くずし字字典データベース」の開発・高度化研究に従事しつつ、同所史料保存技術室にて影写を担当。論文に「中世書跡の和様と唐様」(『日本美術全集8』小学館)、「歴史的・文字分析の視点をめぐって」(『漢字字体史研究 二』勉誠出版)などがある。

### 展示解説

〈前期〉 9月27日(木) 15:30～  
10月 6日(土) 15:30～

〈後期〉 10月18日(木) 15:30～  
10月27日(土) 15:30～

### 京都学ラウンジミニ講座

1階京都学ラウンジにて、毎週木曜日 13時30分～14時に開催中。  
歴彩館職員や外部講師がそれぞれの専門分野についてお話しします。  
テーマは毎月変わりますのでご期待ください!

### アクセス



〇ご来場には、地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

- ▶ JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から  
京都市営地下鉄「北山駅」下車(①出口) 南へ徒歩約4分
- ▶ 京阪出町柳駅から  
京都市バス「府立大学前」下車(北大路通) 北へ徒歩約6分
- ▶ JR二条駅から  
京都市バス「府立大学前」下車(北大路通) 北へ徒歩約6分
- ▶ 駐車場あり(有料 300円/時、最大 1200円)

### 資料紹介コーナー

2階京都資料総合閲覧室で展覧会関連図書を紹介します。  
お気軽にお越しください。

イベント情報は  
歴彩館HPで随時  
更新しています!

